

## 12 倒産

倒産に関する相談は、2,832件で、前年度(4,136件)に比べて1,304件、31.5%の減少だった。

これは、19年度に急増した英会話教室の倒産に関する相談件数が、今年に入って落ち着きを見せたためである。しかし依然としてエステティックサロンや不動産貸借、工事・建築業者の倒産が続き、契約していた消費者から「返金はされるのか」「未消化分のサービスは提供してもらえるのか」といった相談が寄せられている。

契約当事者の属性をみると、性別では「女性」が7割を占め、年代別では「20歳代」が27.8%、「30歳代」が28.3%とそれぞれ3割近くを占めている。前年度と比べると、20歳代から40歳代の件数の減少が目立つ。職業別では、「給与生活者」が6割、「家事従事者」が約2割を占めている。

支払方法では、「信用供与有」が34.3%を占めており、前年度から4.1ポイントの減少はあったものの、クレジットカード等を利用した支払い方法が比較的多いことがうかがえる。

平均契約金額は「254万5千円」で、前年度より149万8千円と高額になっている。平均既払金額は「121万1千円」で、こちらも前年度より45万1千円高額となっている。

主な商品・役務でみると「エステティックサービス」、「不動産貸借」、「工事・建築」「スポーツ・健康教室」の倒産に関する相談が多く寄せられた。特に「不動産貸借」は大幅な増加となっている。一方、「外国語・会話教室」は1,495件の大きな減少となった。(表-62)

表-62 倒産相談内容別件数

単位：件

項目	20年度	19年度	項目	20年度	19年度			
相談件数	2,832	4,136	現金払	1,036	1,420			
性別	男性	749	949	他の前払式	191	458		
	女性	1,976	3,087	不明	339	434		
	団体	78	46	小計	1,566	2,312		
	不明	29	54	支払方法別	自社割賦	16	21	
	年代別	19歳以下	20		77	信用供与有	総合割賦	156
20歳代		709	1,168		個人割賦	503	1,077	
30歳代		721	1,137		その他	266	259	
40歳代		421	654		不明	29	60	
50歳代		243	329		小計	970	1,590	
60歳代		233	249	その他	借金契約	105	53	
70歳以上		202	185	不明・無関係	191	181		
不明		283	337	平均契約金額(千円)	2,545	1,047		
職業別	給与生活者	1,570	2,282	平均既払金額(千円)	1,211	760		
	自営・自由業	176	193	主な商品・役務	エステティックサービス	788	935	
	家事従事者	435	719		不動産貸借	118	18	
	学生	95	293		工事・建築	109	58	
	無職	270	268		外国語・会話教室	107	1,602	
	その他・不明	286	381		スポーツ・健康教室	101	17	